

別添

全日本実業団・クラブ選手権大会東京都予選大会 新型コロナウイルス感染防止ガイドライン

自分がうつされないための努力 他人にうつさないための努力

1 チームにお願いすること

- (1) 参加者の皆様は、1週間前から「新型コロナウイルス感染症に関わる個人健康チェックシート」(別紙1)により体調を記録すること。
- (2) 参加者の皆さんは、自宅で体温が37.5℃未満であることを確認した上で会場に向かうこと。
- (3) 参加チームの代表者は、上記(1)の個人チェックシートを確認の上、大会当日の個人チェック状況を「新型コロナウイルス感染症に関わる健康状態報告書」(別紙2)に記入して、大会本部に提出すること。(個人情報、主催者が厳正なる管理のもとで1か月間保管し、その後、速やかに廃棄する。)
- (4) ベンチ入りの際、チームでベンチの消毒を行う。(消毒液は大会でも準備しますが、原則として、各チームで持参してください。)
- (5) マスクを着用(プレー中の選手を除く)する。
- (6) ソーシャルディスタンス2m(最低1m)を確保すること。そのためならば、ベンチの外へ出ることを認める。
- (7) 共用のバット、ヘルメット等の道具は、その都度、除菌すること。
- (8) 握手、ハイタッチ、ハグ等は自粛すること。
- (9) ロジンは、各チームで準備すること。
- (10) 声援や指示を出す場合は、対人距離に注意し、できる限り大声は発しないこと。
- (11) 試合中及び試合後2週間以内に体調不良となった参加者が発生した場合には、速やかに大会責任者に連絡すること。
- (12) グラウンド内に立ち入れるのは、参加申込書に登録されたチーム関係者及び大会関係者のみとし、一般の応援・観客の立ち入りは認めません。

2 試合運営、審判に関する事項

- (1) コイントスは距離をとって行う、(主将は打席に入らない)
- (2) 試合開始・終了時の整列及び礼は、ベンチ前で球審の合図で行う。
- (3) 同点終了時抽選で勝敗を決める際は、(2)と同様に終了時の打者が打順表どおりの9名が整列すること。

- (4) 塁審は選手との距離を2メートル以上保ち、大声での判定はしないが「アウト」、「セーフ」のジェスチャーは2秒以上保持する。
- (5) 球審も同様、「ストライク」「ボール」の大声発生はしないが、判定ポーズは2秒以上保持する。
- (6) 審判員は捕手や打者に触れない。バット、捕手マスクにも触れないこと。
- (7) タイム時等守備の打合せ時は、ピッチャーサークルに入らないこと。
- (8) 抗議は、監督のみとします。※近づく際は、最低2mの距離を保つこと。
- (9) 試合終了時、両チームとも互いの健闘を讃える握手は自粛すること。
- (10) 控えの審判はマスクを着用する。
- (11) 試合球のボール拭きは、手袋を着用し、その都度除菌を行うこと。